

第一回人文知応援大会 大会宣言

コロナ禍は人間や社会の営みが生み出す様々な歪みを炙り出しました。私たちは、豊かな人間性を軸とするより良い未来をデザインするため、人間の共感力や創造力をいっそう磨く源泉となる人文知を広め、活かす努力をすることを宣言します。

第一回人文知応援大会、大会宣言に寄せて

世界は今、山積する困難な課題に直面している。この混迷の時代、より良い未来を築き上げるためには、個別分野の専門知識を越えた、すべての学問・文化・芸術が歴史的に育んできた知と感性の総体としての「人文知」を羅針盤とすることが必要である。私たちはそう信じて「人文知応援フォーラム」を結成し、第一回人文知応援大会を開催した。

前世紀後半から顕在化し始めていた文明のマネジメントの負の側面が自然の生態系への負荷増大と、世界規模の格差拡大や社会の分裂を生み、近年、世界各所で価値観の揺らぎと社会の混乱を引き起こしてきた。日本でも、世界でも、未来への不安と閉塞感が広がっている。

そこに襲来したコロナ禍は人類社会が内に秘めていた深刻な亀裂を炙り出し、世界の構造とそこに生きる各個人の日々の生活に大きな影を落としている。

今、私たちが直面する課題は、深く、重い。

その課題に挑む知恵と力の源泉が「人文知」である。

人文知は、世界の人々が多彩な文化と生活があることを互いに理解し、尊重し合う基盤を作る。

人文知は、日本が国の姿を整え世界の中で確固たる立ち位置を築く力となる。

人文知は、あらゆる活動の中に世界レベルの創造力と挑戦力を育てる知恵となる。

人文知は、一人一人の生活が豊かで思いやりのあるものであるよう後押しする。

私たちは、知的誠実さをもって、新しい時代を作る知恵と力の源泉である人文知を社会に広く浸透させ、人類社会発展の歪みを正していくことがこれからの日本の最優先課題であると確信して、ここに、第一回人文知応援大会大会宣言を発表する。